



エスプリモ
FUJITSU Desktop ESPRIMO
エッジコンピューティング シリーズ



FUJITSU Desktop ESPRIMO Edge Computing



ESPRIMO エッジコンピューティング シリーズ

- Windows Update 運用最適化モデル ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/W P3
- 文教向けモデル ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/E P5

ESPRIMO Edge Computing Edition とは？

PC相当の性能とアクセスポイントが一体となったエッジコンピューティングデバイスです。

ネットワーク上の、端末機器のデータ処理を行うことができます。

ネットワーク負荷を軽減し、快適な通信環境を実現します。

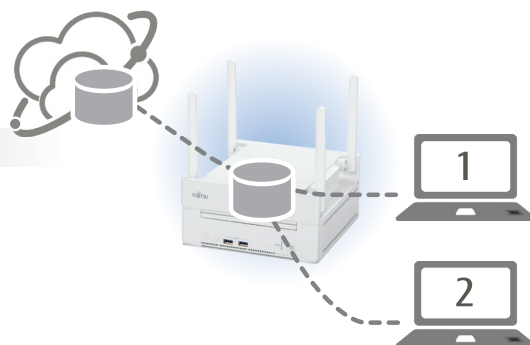
無線環境のないオフィス・学校にも簡単に導入が可能です。

FUJITSU Desktop ESPRIMO Edge Computing Edition でできること

ネットワーク負荷の軽減

インターネットキャッシュ機能 Z0111/W Z0111/E

1台目の端末が外部サイトにアクセスするときに、データを一時保存。
2台目以降の端末は外部サイトでなくキャッシュにアクセスするため、
回線の輻輳を防止でき、円滑なデータアクセスが可能になります。

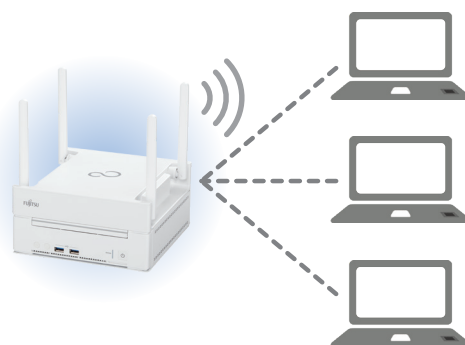


アクセスポイント

無線通信/ ネットワーク管理 Z0111/W Z0111/E

基本的な無線規格対応に加えてネットワーク監視としてSNMPにも対応。
また無線LAN診断*で、
無線接続失敗時の原因説明ができ、早期解決に役立ちます。

*Z0111/Eのみ



ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/W

Windows 10になり、半年に一回、数GB相当のサイズになったWindows Update。

対応のためにはネットワーク負荷の軽減や運用管理が重要です。

富士通のエッジコンピューティングデバイス「ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/W」がスムーズかつスピーディーなアップデート作業を実現します。

Windows Updateの困りごと



1

Windows Updateの
ファイルサイズが増大

2

社内WSUSサーバーへの
通信が集中し
ネットワークの負荷が増大

3

社内端末の
アップデート管理が
手間



ESPRIMO Edge Computing Editionの機能で解決!

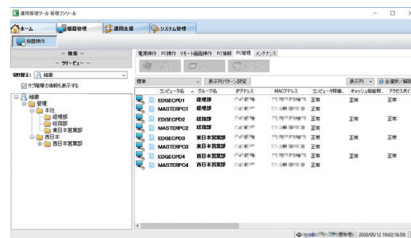


Windows Updateキャッシュ機能

Windows Updateファイルを本製品内にキャッシュして、複数端末で利用します。社内ネットワークの負荷を大きく軽減できます。

運用管理機能

運用管理ツールでアップデート作業のスケジュール管理が可能。実業務に影響しない時間帯を使って、自動的・効率的にアップデートができます。



無線通信機能

アクセスポイント機能搭載。無線環境のないオフィスでも簡単に導入が可能です。



大幅な時間短縮を実現!

通信速度に影響するトラフィック増大部分のボトルネックをキャッシュ機能で解消します。

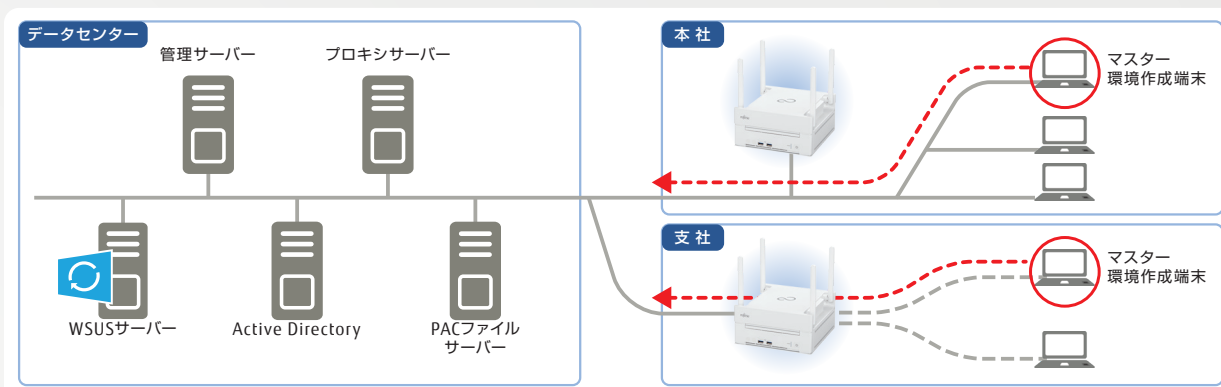
■ Windows Updateを実行する端末100台のダウンロード完了までの時間



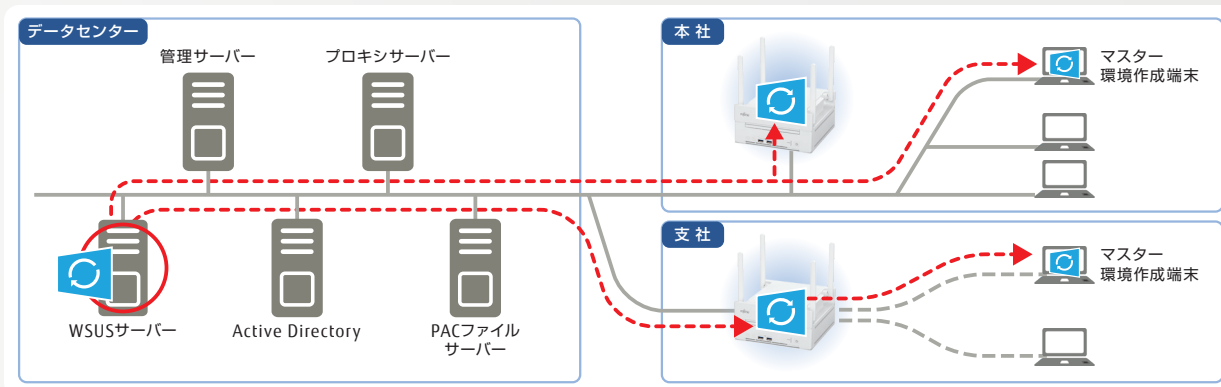
※端末の配信最適化機能OFF、一斉にWindows Future Update(version 1809から1903、約3.5GB)を行った検証結果

Windows Updateキャッシュ機能とスケジューリング機能を使ったWindows Update※1

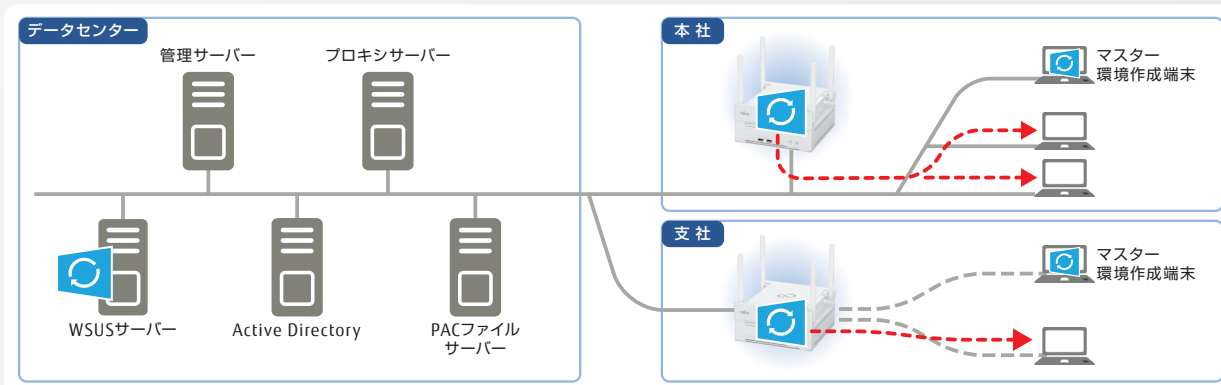
- 1 運用管理ツール用管理サーバーを構築し、各端末でPACファイルによりWindows Update時にエッジコンピューティングデバイスがプロキシサーバになるように設定※2
- 2 夜間など、実業務に影響しない時間にWindows Updateをスケジューリングし、最初の1台(マスター環境作成端末)がアップデートを要求。



- 3 マスター環境作成端末がアップデートされるのと同時にエッジコンピューティングデバイスにアップデートファイルのキャッシュが作成される。



- 4 残りの端末からのWSUSサーバーへのアップデート要求に対してエッジコンピューティングデバイスにキャッシュされたアップデートファイルからWindows Updateを適用。



※1:スケジューリング機能で電源をONする場合はWake on LANに対応したPC(有線LANでの接続)が必要です。 ※2:管理サーバー、PACファイルサーバーは他サーバーと併用運用することも可能です。

ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/E

～文教向けモデル～

～新時代の学びを支えるICT活用ソリューション～

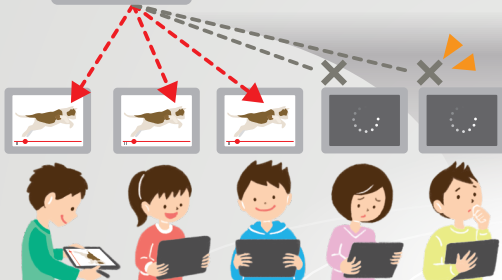
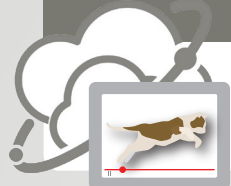
タブレットとさまざまなデジタルコンテンツによる「ICT活用教育」が進む教育現場を、富士通のエッジコンピューティングデバイス「ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/E」が支えます。

教育現場での困りゴト

ネットワーク負荷でインターネット教材などが使いにくい

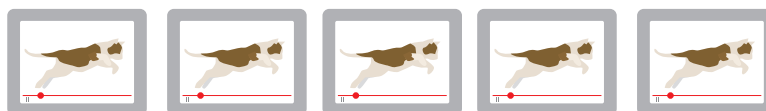


校外へのネットワークに通信が集中することで、各生徒、児童が同時に閲覧したい動画などの再生が停滞・停止し、円滑な授業展開を妨げます。



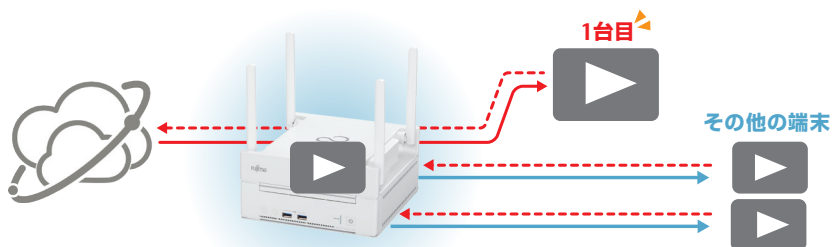
ESPRIMO Edge Computing Edition の機能で解決!

ESPRIMO Edge Computing Edition のインターネットキャッシュ機能が、インターネット教材のスムーズな活用を可能にし、授業をしっかり支えます。



インターネットキャッシュ機能

最初の1台が外部へアクセスすると、そのデータはエッジコンピューティングデバイス内に自動でキャッシュされます。残りの端末はキャッシュファイルにアクセスし、校外ネットワークへのアクセス負荷を大きく軽減します。



- 著作権保護されているコンテンツやキャッシュを禁止しているコンテンツはキャッシュ不可。
- キャッシュされるコンテンツの上限は1ファイルあたり2GBまで。

カスタムメイド型名・価格一覧表 ※1 本体を選択していただいた後、お客様のニーズに適したカスタムメイドメニューをお選びください。

※1:出荷後に変更/追加オプションを単独で出荷することはできません。

型名	価格	オプション添付品	リカバリメディア
Z0111/W Windows Update 運用最適化モデル		なし	なし
FVMZ04002	オープン価格	VESAマウント追加※2 FMCACC042	リカバリUSBメモリ追加 (Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC用) FMCRDD1LV
Z0111/E 文教向けモデル		※2:VESAマウントをご使用になる際は、別途、壁掛けキットが必要です。	なし
FVMZ04001	オープン価格		リカバリUSBメモリ追加 (Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC用) FMCRDD1LT

本体仕様一覧 ※1

モデル名	ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/W	ESPRIMO Edge Computing Edition Z0111/E	
プリインストールOS	Windows 10 IoT Enterprise 2019 LTSC (64bit)		
CPU	インテル® Core™ i5-7500T プロセッサ		
動作周波数	2.70GHz (インテル®ターボ・ブースト・テクノロジー対応:最大3.30GHz)		
メインメモリ※2	8GB	16GB	
グラフィックアクセラレータ	Intel® HD Graphics 630(CPUに内蔵)		
解像度 / 発色数※3※4	DisplayPort最大3840×2160ドット/1677万色		
ストレージ※5	256GBフラッシュメモリディスク(SSD)		
光学ドライブ	なし		
LAN※6	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T準拠、Wake on LAN 対応※14		
無線LAN※7	なし		
インテル vPro® テクノロジー / AMT	—		
ディスプレイ※8	DisplayPort(音声出力対応)×2		
USB※9	USB3.0準拠9ピン×4(フロント×2、リア×2)		
LAN	RJ45×2(アクセスポート部との接続で1ポート使用、取り外し不可)		
オーディオ	—		
キーボード / マウス	添付なし *USB接続のみ利用可		
電源 / 周波数	入力:AC100V※15 ±10%、50/60Hz+2-4%※16 出力:12V 5.5A(65W)		
入力コンセント	平行2Pプラグ		
通常消費電力※10	約17W		
最大構成での消費電力※11	約48W		
定格電流 / 最大消費電力(本体のみ)	1.5A / 約75W		
電圧降下対策	VCCI クラスB		
外形寸法 (W×D×H)※12	アンテナをたたんだ状態:190×185×91.5mm アンテナを立てた状態:190×185×214.9mm		
質量※13	約2.4kg		
温湿度条件	動作時:温度10~35℃ / 湿度20~80%RH 非動作時:温度-10~60℃ / 湿度20~80%RH		
添付品	DP→HDMI変換ケーブル		
基本インターフェース	WAN	1000BASE-T(IEEE 802.3)×2(1ポートをコンピュータ部との接続に使用、取り外し不可)	
	無線LAN	通信規格	IEEE 802.11 b/g/n(2.4GHz)、IEEE 802.11 a/n/ac(5GHz)
		最大伝送速度※17	5GHz帯:1733Mbps(IEEE 802.11 ac wave2) 2.4GHz帯:400Mbps(IEEE 802.11 n)
		周波数帯	2.4GHz(1~13ch) / 5GHz(W52/W53/W56)
アンテナ形態	ダイポールアンテナ×4		
MIMO	4×4:4ストリーム		
セキュリティ	無線LAN	オープン、WPA/WPA2/パーソナル、WPA/WPA2エンタープライズ	
	暗号方式	AES、TKIP、WEP	
	セキュリティ機能	MACアドレスフィルタ、ステルス機能(SSID非通知)、プライバシープロテクション	
アクセス制御	ACL		
ネットワーク管理	SNMP V1/V2C/V3対応、トラップ対応 標準MIB		
その他	無線QoS.00000JAPAN対応、4台同時接続		

※1:本仕様は標準構成です。※2:メインメモリ、プリインストールOS、エッジコンピューティングデバイスの動作状況によりビデオメモリ容量が変化します。※3:本解像度をサポートしたディスプレイでのみお使いになります。お使いのディスプレイによっては正しく表示されない場合があります。※4:表示可能な解像度はご使用になるディスプレイの仕様により異なります。ディスプレイの仕様をご確認ください。最大解像度はグラフィックアクセラレータまたはディスプレイがサポートする最大解像度のいずれかの低い値となります。※5:本ストレージは複数のパーティションに分割されて出荷されています。EFIシステムパーティション:約1GB、Microsoft予約パーティション:約128MB使用、Windows RE領域:約3GB、選択したストレージ容量より約41GBを除いた容量がパーティション3(Cドライブ)となります。なお、各パーティションのファイルシステムはいずれも、NTFSとなります。(EFIシステムパーティションの区画のみFAT32になります)※6:1000Mbpsは1000BASE-Tの理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により異なります。必ず1000BASE-Tに対応したHUBとケーブルをご使用ください。※7:ご利用に関する詳細は、<無線LAN機能のご利用にあたって>をご確認ください。※8:DVI-D、DisplayPortはHDCPに対応。著作権保護された映像を再生する場合は、HDCP対応のデジタルディスプレイをお使いください。※9:すべてのUSB機器について動作保証するものではありません。※10:標準構成(カスタムメイドしていない構成)でOSを起動させた状態での本体のみの測定値です。※11:本エッジコンピューティングデバイスで選択可能なカスタムメイドの最大構成で測定。USBポートは空きとする。測定プログラムは当社独自の負荷試験テストプログラムを使用。※12:本体の前面は開放の上、設置の際は本体と周囲の隙の間に隙間時、左右:20cm、背面:10cm、上面:1cm、設置時、左右背面:10cm、上面:20cmの隙間をおかけ通気孔を塞がないでください。なお、ラックなどに収納する場合は前面にドアがないもの及び、背面が塞がれないものをお使いください。※13:記載している質量は標準構成時のものです。※14:Wake on LANの出荷時のBIOS設定は「使用しない」となっております。使用環境に制限があるため、ご使用の際には、マニュアルをご覧ください。※15:電源ケーブルはAC100V用(日本仕様)です。※16:入力波形は正弦波のみをサポート。※17:理論上の最大伝送速度であり、実際のスループットとは異なります。

《無線LAN機能のご利用にあたって》

本カタログに記載の製品の使用周波数はIEEE802.11a/n/acの場合5GHz帯、IEEE802.11b/g/nの場合2.4GHz帯です。5GHzの周波数帯を5.2/5.3GHz帯でご利用になる場合、屋内のみでご利用できます。(法令で許可される場合を除く。)また2.4GHzの周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器の他、他の無線LANシステム、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定小電力無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。

- この機器の使用前に、近くに医療機器や工場がないことを確認してください。
- 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が生じた場合には、速やかに本製品が接続している無線LANアクセスポートの使用チャンネルおよび、本製品のアクセスポート部の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- 補込み型医療機器からは5cm以上上置してご使用ください。
- 本製品は日本国内専用です。海外での使用の場合、当該国の電波関連法令に抵触する可能性があります。
- 2.4GHz帯の場合は1~13チャンネル(ただしIEEE802.11nの40MHz帯幅システム(HT40)の場合は2つのチャンネルを組み合わせて1つのチャンネルとして使用します)。
- 5GHz帯の場合はW52、W53、W56の19チャンネル(ただしIEEE802.11nの40MHz帯幅システム(HT40)、IEEE802.11acの40MHz帯幅システム(VHT40)の場合は2つのチャンネルを組み合わせて1つのチャンネルとして使用、IEEE802.11acの80MHz帯幅システム(VHT80)の場合は4つのチャンネルを組み合わせて1つのチャンネルとして使用)から通信チャンネルは本製品が接続している無線LANアクセスポートの設定および本製品のアクセスポート部の設定により決定されます。
- 同じチャンネルを利用できる無線LAN製品とのみ通信が可能です。
- 複数の無線LANアクセスポートが設置されている環境においては、各々の電波干渉の影響を考慮したチャンネル設定を実施してください。たとえば、IEEE 802.11gの場合には5チャンネル以上離すことを推奨します。
- IEEE802.11bはチャンネル14をサポートしていません。
- Windows 10の場合、Cisco LEAP、PEAP/GTC、EAP-FASTには対応していません。
- Windows 10の場合、アドホック通信は対応していません。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式としてはDS-SS方式およびOFDM方式を採用しており、干渉距離は40mです。
- 2.4GHz帯を使用した無線LAN通信を行った場合、他のBluetooth®機器と干渉する場合があります。

バンドルアプリー一覧

アプリ名称	適応機種	Z0111/W	Z0111/E
管理画面		●	●
端末情報収集ツール		—	●
無線LAN 診断		—	●
動作状態監視ツール		●	●
お手入れナビ / RAS Utility		○	○
アップデート情報取得モジュール		●	—
Windows Update 運用最適化モデル 運用管理ツール		▲	—
メール通知設定		●	●
インターネットキャッシュ機能		●	●
サーバファイルキャッシュ機能		—	●
優先接続設定		—	●
無線LAN 接続台数表示		—	●

- : ストレージ内に格納(未インストール)
- : インストール済み
- ▲: 本体購入時に添付しているDVD媒体で提供

別売オプション一覧

品名	型名	希望小売価格 (円、税別)	備考
DISPLAY E22-8TA LED	VL-E22-8TA	72,800	21.5型ワイドで解像度FHD:1920×1080の表示が可能。LEDバックライト採用。 ブルーライト低減機能・フリッカーフリー機能を搭載。
DISPLAY 17ESS LED	VL-17ESS	48,300	17型TFカラーLCD(LEDバックライト)、明るさセンサー(LEDエコモード)、ステレオスピーカー内蔵。
DP→HDMI変換ケーブル	FMV-ADP04	6,000	本体側のDisplayPortをHDMIインターフェースに接続する場合に必要。本体の添付品と同等。
DP→DVI変換ケーブル	FMV-ADP03	6,000	本体側のDisplayPortをディスプレイのDVI-Dインターフェースに接続する場合に必要。 Dual-Linkに対応しておりません。(最大解像度が1920×1200以下となります。) ※VL-17ESSと接続する際手配必須。
OADGキーボード(109Aキー/USB)	FMV-KB338	12,800	日本語109Aキーボード、USB接続。キーボード操作で本製品の電源ONに対応可能。
USBマウス(光学式)	FMV-M0315	8,100	光学式、スクロール機能付、USB接続。ケーブル長:1.8m。
無停電電源装置	FMUP-204	73,900	停電、瞬断の発生時に本体に電力を供給するための装置、ラインインタラクティブ方式。 電源ケーブルを接続することで電源バックアップとして使用可能。
PowerChute Business Edition v10.0	B5140R57C	16,900	本体の安全なシャットダウンや、システム管理者による効率的な電源管理を可能にするソフトウェアならびに本体と無停電電源装置(FMUP-204)を接続するケーブル(ケーブル長:2m)がセットになった製品です。 添付のソフトウェアをインストールすることにより、下記の機能を実現。 ・停電時の自動シャットダウン ・カレンダースケジュールによる自動電源制御 ・UPSの動作ログ/電源入出力データのモニタリング

FUJITSU Managed Infrastructure Service SupportDesk

※法人向けESPRIMO エッジコンピューティングシリーズ専用のサポートメニューです。

標準保証(1年間引取修理+パーツ保証)を3~5年間の訪問修理に拡張できるサポートメニュー(ハードウェア修理のみ)をご用意。
万が一のトラブルの際には、当日中に当社のサービスエンジニアがお客様先に向かい、修理を実施します。

※SupportDeskサービスは法人のお客様専用のサービスです。個人のお客様はご利用できません。
※本サービスは国内のご利用に限りです。 ※富士通製ハードウェアの標準保守期間は機器のご購入後5年間です。

SupportDesk/バックStandard/Standard24

※SupportDesk/バックStandard/Standard24は本製品と同時にご購入ください。
サービスを開始するには専用のWebサイトによるご登録が必要です。

▶ 当日訪問修理

対象機器	ESPRIMO エッジコンピューティングシリーズ本体、純正内蔵メモリ(本体可能搭載数まで)、 純正ディスプレイ(1台)、純正キーボード(1個)、純正マウス(1個)					
サービス内容	・ハードウェア当日訪問修理 ^{*1*} *2*3*4*5					
対応窓口	富士通サポートセンター(OSC) ^{*6*} *7					
サービス時間帯	月曜日～金曜日 ^{*8} 8時30分～19時			24時間365日		
サービス期間	3年	4年	5年	3年	4年	5年
型名	SV7X0GBA11	SV7X0GBA71	SV7X0GBAD1	SV7X0GBA31	SV7X0GBA91	SV7X0GBAF1
標準価格(税別)	17,000円	23,000円	29,000円	23,000円	33,000円	42,000円

*1:訪問修理は修理受付日の当日対応となりますが、受付時間・交通事情・天候・対象製品の設置地域などによっては翌営業日以降の対応となる場合があります。*2:本製品のサポート内容は、ハードウェアサポートに限りです。LAN/WANなどのネットワーク障害に関する対応は対象外です。*3:修理交換したストレージにはOSがプリインストールされていません。*4:修理作業時に可搬媒体(USBメモリ等)を使用する場合があります。*5:キーボード/マウスの故障時は、お客様のご要望により交換対象品をお届けし、お客様自身による交換修理が可能です。ただし、富士通がお客様自身による部品交換および調整が可能と判断した場合に限りです。*6:OSC:One-stop Solution Center(SupportDesk ご契約のお客様専用サポートセンター)。お問い合わせの際は当社が発行するサービス管理者IDが必要です。*7:本対応窓口はハードウェア修理専用の窓口です。OS/バンドルアプリのサポート対応窓口については、本製品添付のサポート書をご覧ください。*8:祝日、12/30~1/3は除きます。

SupportDeskに関する詳細は富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。 ▶ <https://www.fujitsu.com/jp/supportdesk/>

有寿命部品について ●本製品は、長寿命電源や長寿命ファン等を使用しているため、24時間以上連続してお使いいただけます。(部品寿命の場合、有償修理となりますので別途保守契約が必要となります。)

●本カタログに記載の仕様は、予告なく変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。●本製品をご使用いただく前に、同梱されているソフトウェアの使用許諾条件および保証規定(https://www.microsoft.com/ja-jp/useterms)に同意いただく必要があります。●Windows 10の一部機能には、追加のハードウェアが必要となる場合があります。WindowsオペレーティングシステムおよびWindowsアップデートに対してもディスク容量を使用するため、お客様が使用可能な実容量は少なくなります。詳しくはhttps://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-10-specificationsをご覧ください。●コンピューターウイルスを検出・駆除するソフトは別途ご用意ください。●各種ドライバやBIOS、ファームウェア、添付ソフト等の最新モジュールを以下のダウンロードサイトに提供しております。システム安定稼働、セキュリティリスク低減のため、常に最新モジュールを適用して頂くことを推奨いたします。尚、最新モジュールのダウンロードおよび適用作業は、お客様自身で実施願います。(弊社担当営業もしくは販売店までお問い合わせください) <ダウンロードサイト> https://www.fmwORLD.net/biz/fmv/index_down.html ●本文中のディスク容量は1MB=1000×1000バイト、1GB=1000×1000×1000バイト換算値です。1MB=1024×1024バイト、1GB=1024×1024×1024バイト換算値のものは、表記上は同容量でも、実容量は少なくなりますのでご注意ください。●USBメモリを使用する修理作業が発生する場合があります。●修理作業時本製品に接続するディスプレイ、キーボード、マウスはお客様が事前にご準備をお願いいたします。●誤動作や故障により、本製品の記憶内容が失われる場合がございますが、これによる損害等の責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。●本製品の補修性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造終了後5年間です。●本体の設置条件はモデル毎に異なります。詳細は取扱説明書、または富士通製品情報ページのマニュアル(https://www.fmwORLD.net/biz/fmv/support/fmvmanual/)をご覧ください。●Intel、インテル、Intelロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Intel Core、Core Inside、vPro Inside、Intel Uniteは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。●HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing,LLCの商標または、登録商標です。●This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.(http://www.openssl.org/) This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)●その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。●その他の記載されている製品名などの固有名称は各社の商標または登録商標です。●本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するために、OpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれています (http://www.openssl.org/)。



このカタログには、植物油インキを使用しています。

⚠️ 安全に関するご注意

ご使用の際は、マニュアルの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。
火災、故障、感電などの原因となることがあります。表示された正しい電源・電圧をお使いください。

富士通株式会社

◎インターネットで最新の製品情報などをご覧ください。
富士通製品情報ページ(FMWORLD.NET[法人]):<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/>

本カタログ掲載製品のご購入に関する相談は、電話でも承ります。

【購入相談窓口】 **通話料 無料 0120-959-242** (受付時間: 9時~18時)

※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※電話番号はお間違えないよう、お確かめのうえおかけください。

お問い合わせ、ご用命は下記にお申し付けください。